

令和5年第10回大山町議会定例会一般質問

令和5年12月13日・14日

通告順	議席 番号	氏 名	質 問 事 項
1	13	吉原 美智恵	1. 「ねんりんピック」への準備と対応は
2	11	杉谷 洋一	1. 安心・安全に暮らせる町は
3	9	大杖 正彦	1. 本町の英語教育について 2. 敬老事業について町全体の敬老会の復活を
4	6	池田 幸恵	1. これからの中山間地における農業は
5	3	豊 哲也	1. 海の観光拠点整備事業と観光弾丸路について
6	2	西本 憲人	1. 小学校にイマージョン教育導入予定は 2. 学校や保育園の維持管理の方法は
7	12	近藤 大介	1. 大山町の未来について 2. これからの社会教育
8	14	岡田 聰	1. 地域活性化施策で町に賑わいを
9	7	門脇 輝明	1. 認知症家庭への実態に基づく支援を 2. 新規起業者の育成施策は 3. 政府の総合経済対策への対応を早く
10	15	野口 俊明	1. 住民の声をどう生かしているのか
11	8	大原 広巳	1. 中山間地域等直接支払制度の課題について
12	1	小谷 英介	1. 持続可能な官民連携のあり方とは
13	10	大森 正治	1. 水道料金値上げは住民合意を得て 2. 保育士（会計年度任用職員）の待遇改善を

令和5年11月20日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 13番 大山町議会議員 吉原 美智恵

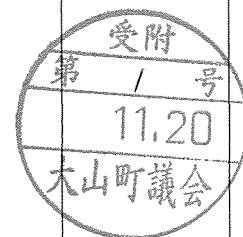


一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 「ねんりんピック」への準備と対応は</p> <p>「ねんりんピック」は、高齢者を中心としたスポーツ、文化、健康と福祉の総合的祭典であり、鳥取県での開幕もあと一年を切ったところである。</p> <p>来年10月19日～22日の4日間、県内19市町村で、スポーツや文化種目など、計29種目の交流大会の実施が予定されている。</p> <p>県によると、選手や関係者、一般観客を含め、参加者は延べ約40万人と見込まれており、鳥取県の魅力発信や観光振興の面でも、期待が高まっている。</p> <p>大山町では、自転車で行う「サイクリング」と「ソフトボール」の会場となる予定である。</p> <p>① 本番に向けた町民への周知は</p> <p>② リピーターとして訪れてもらえるような地域の魅力発信は</p> <p>③ 海幸、山幸の豊富な郷土グルメの開発は</p> <p>④ 「大山」をはじめ、町内の歴史的遺産への誘導は</p> <p>⑤ ボランティア募集方法と活用内容は</p>	<p>町長 教育長</p>



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和5年11月23日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 11番 大山町議会議員 杉谷 洋一

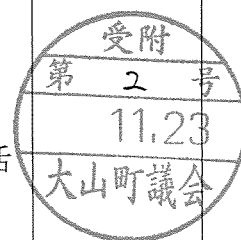


一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 安心・安全に暮らせる町は</p> <p>① 犯罪を起しにくい環境整備で町民の安心・安全の確保は</p> <p>全国各地で信じられないような悲惨な事件が多発している。良好な治安は、社会・経済の発展の礎であり、行政や警察・集落などが連携し地域全体で保たなければならない。予防的な犯罪防止対策は、犯行を困難にすることとされている。</p> <p>それには、地域のパトロールや住まいの鍵を二重ロックなど、侵入を防ぎ自宅には大金を置かない。また、整然とした町並みや環境整備で犯罪が起りにくくすることが重要である。</p> <p>特に、犯罪を予防するためには、地域の人と人とのつながりが重要である。泥棒が犯行を諦めた理由としては、声をかけられたことが第1位に挙げられているように、地域での「あいさつ運動」や「声かけ運動」は未然に防止する上で効果があり、防犯予防対策として重要と考える。</p> <p>防犯パトロールは、防犯活動の代表とも言うべき取り組みである。犯行を困難にする予防対策として、地域全体でパトロールを通じて防犯意識を高め、防犯意識の高い大山町であることを対外的にアピールすることは、犯罪の発生を抑止する上で効果があると考え。また、これら防犯上の危険な箇所の把握とその改善などの環境整備をすることにより、町民が安心・安全に暮らせる住みやすい大山町となると考えるが、町長の見解は。</p> <p>② 防犯カメラの意義は犯罪を起りにくくするためであり、町の公共施設や集落の集会所などへの防犯カメラの設置補助は</p> <p>防犯カメラの設置に対し、プライバシーに十分に配慮した防犯カメラの活用方法の検討は必要である。</p>	<p>町長 教育長</p>



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>都会では貴金属の盗難があり、本町でもクーラーの室外機盗難や過去には消防のホースの格納での金属盗難、道路のグレーチングの盗難、橋の銘版の盗難などが発生している。</p> <p>それらに対して、全国では防犯カメラのおかげで犯罪の早期解決につながっている事例が数多くある。また、防犯予防のため個人の住宅にも防犯カメラの補助が必要と考える。さらに、犯罪を防止するためには、積極的な広報と啓発活動を展開する必要がある、緊急を要する情報については、防災無線やSNSなどを通じて速やかに情報を発信し、また、防犯のまちづくり講座などを通じた啓発活動に対する取り組みも重要である。</p> <p>住みなれた地域を防犯の視点から改めて見直しをするため、普段でも薄暗い所や、あまり人目につかない場所などは定期的に検証する必要がある。</p> <p>樹木が生い茂るなど、犯罪が起きやすいような所には、集落や地域で剪定や伐採などにより、見通しの確保や防犯灯の点灯などの必要な対策を講じて、地域ぐるみで犯罪の起きにくい環境をつくることが求められているが、町長の見解は。</p> <p>③ 独居老人や高齢者宅を狙った電話での詐欺が頻繁に発生しており、詐欺対策機能付き電話機であるマイナンバーディスプレイ機能及び録音機能電話機の補助は。</p> <p>高齢者への振り込め詐欺は、従来のオレオレ詐欺、架空請求詐欺、還付金詐欺に、最新の手口として、「現金を郵送させる詐欺」「キャッシュカードをだまし取る詐欺」「時事ネタ詐欺」「ネット詐欺」など、ニュースや新聞で度々取り上げられ、警察や行政機関での周知等がされているにも関わらず、依然として頻繁に発生し、被害件数が少なくなったとは言えない。</p> <p>人間の認知機能は、高齢になるほど判断能力や声の認識能力に不安が残り、正確な家族の声が見抜けなくなるケースがでてくると言われている。</p> <p>詐欺対策のポイントとして「家族に相談」「詐欺対策機能付き電話機に交換」、「詐欺の主な手口を覚える」と言われ、日常の家族間の情報共有や連携が重要である。</p>	

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>詐欺師の多くは電話を掛けて来ることから始まり、自分の声や会話を録音されるのを嫌がる傾向があるので、詐欺対策機能付き電話機への交換支援が求められる。録音機能と相手の電話番号表示の詐欺対策機能付きの電話機に併せて対処法ステッカーなどを電話機の近くの目立つ所に貼っておくと、怪しい電話がかかってきたときに冷静に対処できると言われる。</p> <p>高齢者に対して詐欺対策機能付き電話機の補助と対処法ステッカーの配布など、更なる対策強化が求められている。これらにより、本町では防犯に積極的に対応している先進地というニュースや情報が対外的に広まれば、防犯の抑止力になると考えるが、町長の見解は。</p> <p>④ 学校や通学路の防犯カメラ設置及び通学時の安全対策は。</p> <p>全国では子どもを取り巻く、さまざまな事件や交通事故などが発生し、被害は登下校時に多く、特に下校時の15～18時に集中している。</p> <p>防犯ボランティアの高齢化や共働き家庭の増加など、「地域の目」が減少したため、「見守りの空白地帯」が生じてきており、登下校時における総合的な防犯対策の強化が急務であると言われている。</p> <p>それには、登下校時の防犯対策に関する「地域の連携の場」の構築、通学路の合同点検の徹底に併せて危険個所の情報共有や整備改善、さらには不審者の情報共有と迅速な対応、見守り隊の育成や防犯ボランティアなどによる日常生活での見回り支援、危険時に子どもたちが自らを守る危険回避教育などの強化が必要である。</p> <p>本町の未来を担う小中学生の豊かな成長を支えるためにも学校や通学路・遊びの広場などへの防犯ボランティアや防犯カメラ設置など安全対策の強化が求められているが、教育長にお尋ねします。</p>	

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和5年11月25日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 9番 大山町議会議員 大杖 正彦



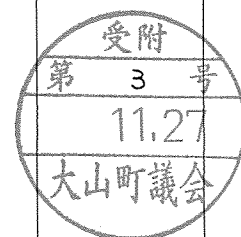
一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間

50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 本町の英語教育について</p> <p>本町の英語教育＝生徒全体の英語力向上に向けた取り組みについてお尋ねします。文科省は本年5月、2022年度「英語教育実施状況調査」の結果を発表しました。</p> <p>それによりますと、A1レベル（英検3級）相当以上の中学生は平均49.2%、前年度比2.2ポイント上昇と改善が進んでいます。しかし都道府県別・地区別に見ると大きな差があり、上位は「さいたま市」の86.6%「福井県」の86.4%です、一方「鳥取県」は34.6%でビリから2番目、最下位は「島根県」34.1%です。</p> <p>小学校の英語教育では、学級担任が行なっている状況が多いが、担任以外の専科教師などの活用も見られた。ICTを活用した言語活動やALTによる授業外の活動を行なっている学校がレベルが高い傾向にあるという。中学校では上位のいずれも日本語を使わない特別な授業形態と聞きます。</p> <p>本町でもALT制度の充実、留学制度など現場での英語学習、英語力の向上には一定の効果を上げているようですが以下の質問をします。</p> <p>①令和4年度小6・中3生徒を対象に実施した、全国学力・学習状況調査の結果、英語英検3級以上の本町の割合は、その結果をどのように分析しているか。(向上に向けての対策など)。</p> <p>②ALT配置増などで生徒が身近に英語へ触れ合えることは評価できるが実質的な成果は。</p> <p>③現在、本町で最も力を入れている英語教育の内容は。</p>	教育長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p data-bbox="204 275 991 315">2. 敬老事業について町全体の敬老会の復活を</p> <p data-bbox="204 394 1326 488">議員と語る会などで聞かれる声に、近年敬老事業が活発に実施されていない、弁当配布などで簡素化が著しいという不満の声である。</p> <p data-bbox="204 510 836 546">目的：① 高齢者(敬老事業対象者)の満足度向上</p> <p data-bbox="288 568 660 604">② 自治会役員の作業量減少</p> <p data-bbox="288 627 691 663">③ 他の集落地区町民との交流</p> <p data-bbox="288 685 1262 721">④ 日頃の夢の実現(文化祭での舞台発表など)子どもたちとの交流もある。</p> <p data-bbox="204 799 1326 954">町全体での敬老会事業の実施は予算額でも大きいと思うが、これまで永く町内に住み、地域の発展に貢献された方々の苦勞に報いるためにも必要なイベントであり、多くの高齢者の楽しみや生き甲斐にもなると期待できる。</p> <p data-bbox="204 1032 341 1068">質問事項：</p> <p data-bbox="204 1090 1145 1126">① こうした敬老事業対象の町民の皆さんの声に対して行政の捉え方は。</p> <p data-bbox="204 1149 999 1184">② 町全体で開催する敬老会を行うにあたり課題・問題点は。</p> <p data-bbox="204 1207 1086 1243">③ 集落単位の敬老補助事業費と町全体で行う費用の比較はどうか。</p> <p data-bbox="204 1265 791 1301">④ 町全体での敬老会に対して町長の考えは。</p>	町長

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和 5年 11月 26日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 6番 大山町議会議員

池田 幸恵



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間

50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1、 これからの中山間地における農業は</p> <p>現在、兼業農家や兼業とまではいかずとも農業に取り組んだり、農地相続したことにより食用米などの栽培に取り組まれている方が多くいます。個人で農業機械を所持していたり、中山間地事業や農業委員会などの農作業請負などを活用されて取り組まれている。しかし多くは赤字を出して作っている状態で、「買った方が安いけど」とよく声を聞きます。</p> <p>条件の良い農地は農地の貸し借りなどで活用されますが、広さや立地条件、日照条件などで借り手のない農地など、耕作をやめたとしても維持管理は行わねばならず負担は継続され、山陰道から見える谷間にも耕作放棄地が目立つようになってきました。</p> <p>その背景には米価下落、燃料高騰、後継者不足、中山間地事業の継続困難など課題がたくさんあるように感じます。そこで以下のことを問う。</p> <p>① 兼業農家や食用米のみを作っている農家への支援はこれまでにあったのか。また、現在行っている支援はあるのか。</p> <p>② 耕作放棄地を増やさないためにも維持管理が困難な農地の支援を行わないか。</p> <p>③ 中山間地事業の事務補助（サポート）を行わないか。</p>	<p>町長</p> <div data-bbox="1225 1713 1465 1944" style="text-align: right;"> </div>

(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和5年11月28日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 3番 大山町議会議員

豊 哲也

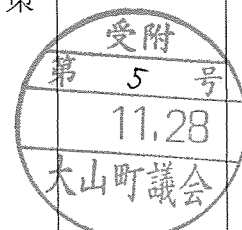


一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 海の観光拠点整備事業と観光戦略について</p> <p>海の拠点整備事業が進み、テーマが決まり、配置施設の概要も決まり、あと検討委員会を2回残すこのタイミングで、そもそもの大山町の観光のあり方と海の拠点整備事業について問う。</p> <p>①海の観光拠点整備事業では、「資源を活かし」た「アクティビティ」がテーマに上がっているが、御来屋漁港での海の観光資源とはどのようなものだと捉えていて、具体的にどのようなアクティビティを考えているか。それは他自治体の事例を踏まえてのものか。</p> <p>②海の拠点整備事業は誰のための事業か。</p> <p>③海の拠点整備事業は地元住民、特に漁業を生業とする方達とのコンセンサスは十分に取れているか。</p> <p>④観光は観光業を生業とする町民の方のためにあると思われるが、既存の町内事業者とは円滑な連携を取れているか。また新規の町内業者とはどのように接点を持っているか。</p> <p>⑤海を利活用して観光を生業にしている町民の方が、本町の観光に対して他の自治体と比べて何が不足していると考えているか。またそれに対する対策は。</p>	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>⑥海の観光拠点整備事業では、「持続可能な」「観光地域づくり」がテーマに挙がっているが、ここで挙げられる観光事業者とは具体的にどんな事業者を想定し、「自立して儲ける仕組みづくり」とは具体的にどのようなものか。またそれは今回の海の拠点整備事業ができることで成し得るのか。</p> <p>⑦現在、アウトドアライフ構想の中でも数億円規模の事業が計画されつつある。また公民館の建て替えなどを含めた見直しをするため、住民参加のワークショップをしており、今後、非常に大きな予算が動くことが想定されているが、町の中長期予算方針は。</p> <p>⑧観光などの商工は民間の方が主体的に行っていくもので、行政が行ってもなかなかうまくいかない専門的なものである。町内で特に観光での起業喚起の取り組みはどのようにしているか。</p> <p>⑨大山町観光のため、町や町の外部団体、スキー場運営事業者などで、行う広報の予算は総額でどれぐらいが妥当だと想定しているか。またその広報を行う際の意識決定系統やレギュレーションはどのようにになっているか。</p> <p>⑩現在、DMOの設立に向けて準備を進めている段階であるが、大山町の観光の問題をどのように捉えていて、DMOの必要性はどこにあり、どのようにその問題を解決しようとしているのか。</p>	町長

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和5年11月25日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 2番 大山町議会議員 西本 憲人 印

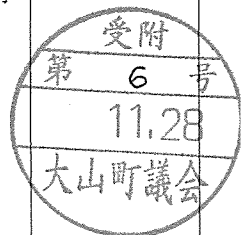


一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 小学校にイマージョン教育導入予定は</p> <p>英語教育についての2度目の一般質問です。</p> <p>令和4年に教育長、町長、副町長から英語教育の必要性をしっかりと話してもらい、本町では英語教育は教育の3本柱の一つでもあります。</p> <p>今年10月には行政の視察に同行して、愛知県豊橋市の八町小学校に視察に行かせてもらいました。今回は町長、教育長代理の教育委員、教育次長、参事、ALT5名と大山町からは錚々たるメンバーでの視察でした。</p> <p>今回で、大山町からの視察は2度目で昨年度に副町長、教育長も視察に行っています。</p> <p>八町小学校で行っているイマージョン教育を簡単に説明すると、英語にどっぷり浸かる。いわゆる英語漬けの学習方法で、道徳と国語以外は全て英語での授業が行われている学校となります。</p> <p>英語を学ぶでなく、英語で学ぶ、まさに英語漬けなイマージョン教育の現場を視察させてもらいました。</p> <p>そこで今後の大山町の英語教育について質問いたします。</p> <p>① イマージョン教育導入の予定は。</p> <p>② 導入に対しての課題は。</p> <p>③ イマージョン教育含め、特色ある英語教育を小学校に導入検討する際、本町4つの小学校すべてで始めるのか、どこかモデル校として始めるのか。</p>	<p>教育長 町長</p>



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>2. 学校や保育園の維持管理の方法は</p> <p>現在、学校や保育園の園庭、校庭脇の草刈りなどの管理は地域の活力によって成り立っているところが多い。</p> <p>先生や一部のボランティア精神がある人に負担が集中しており、働き方改革、人口減少の観点から今後の維持管理が十分に行かない懸念がある。</p> <p>地域一丸となり学校・保育園を支えて行くことは重要であるが、地域の人に汗を流してもらおう方向が少し違うと感じている。</p> <p>先生の負担軽減とともに、本来の仕事であるこどもの教育に専念してもらいたいところである。</p> <p>グラウンド整備のスポーツトラクターの使用も運動会前など時期がかぶり、先生方に負担がかかる状態で整備をしている状態である。</p> <p>本町の学校・保育園の維持管理について質問いたします。</p> <p>① 学校・保育園の草刈りや、枝木の剪定の維持管理の現状は 誰がどのタイミングでどのように行なっているのか。 例) 中山小学校は年に2回PTAのボランティア作業と先生が作業をして維持管理している等</p> <p>② 学校のグラウンド整備の維持管理の現状は</p> <p>③ 外部委託など、予算を確保しての維持管理の意向は</p>	<p>教育長 町長</p>

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和5年11月28日

大山町議会議長 米本 隆記 様

12番 大山町議会議員 近藤 大介

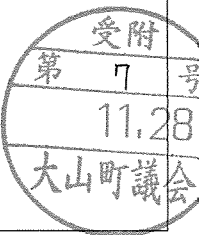


一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 大山町の未来について</p> <p>平成17年の3町合併から20年目を迎えようとしている。第2次総合計画も残り2か年であり、今後の大山町のビジョンについて、町長の考えを問う。</p> <p>1) 3町合併の成果と課題は。</p> <p>2) 町長は、20年後の大山町が、どのような町になっているとイメージしているか。大山町民の暮らしは、どのようになっているとイメージしているか。</p> <p>3) 20年後、大山町の農業はどのようになっているとイメージしているか。大山町の農業集落はどのようになっているとイメージしているか。</p> <p>4) 20年後、大山町の漁業、商工業、観光はどのようになっているとイメージしているか。</p> <p>5) 第3次総合計画は策定するか。策定にあたっての方針は。</p> <p>「大山恵みの里づくりの推進」、「楽しさ自給率」について、今後、どうしていく考えか。また、過去に何度か提案しているが、第2次総合計画の成果を点検するため、計画策定に関わったスタジオエル代表の山崎亮氏を招へいし、計画の素案を作った「大山未来会議」のメンバーと町の未来について意見交換する場を設ける考えはないか。</p>	<p>町長</p>
<p>2. これからの社会教育</p> <p>老朽化してきている公民館の建て替え計画が検討されているなか、公民館の業務を教育委員会部局から、町長部局に移管する条例が提案されている。</p> <p>この機会に、これからの社会教育について、町長、教育長の考えを問う。</p> <p>1) 社会教育の必要性は何か。</p> <p>2) 大山町社会教育の現状と課題は。今後、どのようなことに力を入れていく考えか。</p> <p>3) 公民館を町長部局に移管する理由、必要性は何か。どのような効果を期待しているか。また、移管するにあたり、どのような協議をしてきたか、町民の意見を聞いたか。</p> <p>4) 公民館が町長部局に移管されることで、社会教育の推進に影響はあるか。また、現在検討中の公民館建設計画にどのように影響するか。</p> <p>5) 部局が変わっても公民館が、社会教育の拠点としての機能を十分に発揮できるよう、公民館の社会教育的役割を明確にした上で、本町の社会教育推進の指針を策定し町民と共有すべきと思うが、町長、教育長の考えは。</p>	<p>町長 教育長</p>



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和5年11月28日

大山町議会議長 米本隆記様

議席番号14番 大山町議会議員 岡田 聡 印

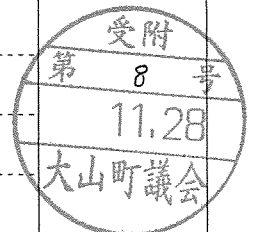


一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1, 地域活性化施策で町に賑わいを</p> <p>少子高齢化の急激な進展、ライフスタイルの変化による消費者ニーズの多様化、コロナの影響、ネットを利用した商品購入の増加、大型店舗の出店など中小企業を取りまく環境が大きく変化し、経営は大変厳しいものとなっている。更に、昨今の原油や原材料の高騰などの影響もあり、状況はさらに悪化していると思われる。中小企業が元気にならなければ、町の活気も失われてしまう。中小企業振興策による地域創生の取組みが出来ないものか。</p> <p>以下の項目について質します。</p> <p>(1) 再再の町内限定の商品券発行による消費喚起はどうか</p> <p>(2) 起業支援金や事業後継助成金などの拡充（農業なども含む）は</p> <p>(3) コロナ過でのゼロゼロ融資の返済に苦しむ業者への支援は</p> <p>(4) インボイス制度が開始された、不当な値引きの強要は無いか、手助けできることは無いか</p> <p>以上</p>	町 長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

大山町議会議長 米本隆記様

議席番号 7番 大山町議会議員 門脇輝明



一般質問通告書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質問事項と要旨	質問の相手
<p>1 認知症家庭への実態に基づく支援を</p> <p>認知症の高齢者がおられる家庭の状況は様々である。認知症の母親と子供と3人暮らしをされている方の話を聞いた。母親は自立して活動ができるとして介護度の認定は低いですが、どこへでも歩いて行ってしまうので、家庭では面倒を見切れないことから施設の入退所を繰り返しているが、その費用を賄う経済的負担が大きく困っている。</p> <p>現在は母親の年金と子供の学資を取り崩して賄っているが、学資がなくなれば、施設に入所させることができない。自分が仕事を辞めて家庭で介護するしかないが、それでは生活ができない。何とか母親の年金だけで入所費用が賄えるようにならないかということであった。</p> <p>この家庭の場合は、母親が施設に入所しなければ生活をするのが困難と考えられることから、母親は実質的に家族とは別に生活を状態(いわゆる世帯分離の状態)にある。</p> <p>しかし、町の取り扱いは、このような状態での世帯分離を認めていない。手数はかかるが、町民の生活を守るため、画一的な取り扱いではなく、実態を基にした判断をすることはできないのか。</p>	町長
<p>2 新規起業者の育成施策は</p> <p>新規起業者と言っても内容は様々である。農業や水産業あるいは飲食、宿泊業等既に町内に先行する事業者がある業種に新規参入する場合のほか、町内に先行する事業者がいない新しい業種を起業する方もある。</p> <p>これまで起業支援の施策は立ち上げ時に着目したことがほとんどであり、育成という視点が少なかったように思う。これは、子どもを産むときには手助けをするが、生まれた後は勝手に育ちなさいと言っているようなものだ。</p> <p>たとえば、町おこし協力隊に応募し就農をめざしたとしても、任期が終わり就農したとたんに経営拡大をするとき以外には経済的支援はなくなる。親元就農で引き継いでも、従来と同様な作物ができるまでには相当な期間が必要となる。</p> <p>また、町内に事業者のない新しい事業に挑戦した場合、先行し資本や経験のある町外事業者との競争となり、対等に戦える体力をつけるまでには、これも相当な時間を要する。</p> <p>産業振興の観点から、この間の支援をどう考えているのか。</p>	町長



(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質問事項と要旨	質問の相手
<p data-bbox="197 226 858 264">3 政府の総合経済対策への対応を早く</p> <p data-bbox="197 315 1193 387">政府の総合経済対策についての賛否はいろいろあるが、低所得者にとっては朗報である。</p> <p data-bbox="197 394 1193 510">特に、物価高対策のための重点支援交付金1世帯当たり7万円の追加支援に加えて、町独自の事業を含め、交付金の対象となる事業メニューが示されている。</p> <p data-bbox="197 517 1193 633">これらの事業は、可能な限り速やかに実施することが最も有効であり、求められているが、どのような事業をいつ、どのように実施しようとしているのか。</p>	町長

(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和5年11月28日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 15 番 大山町議会議員

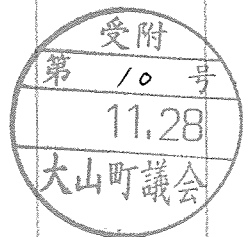
野口俊明 

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 住民の声をどう生かしているのか 町政全般については何う。</p>	<p>町長 教育長</p>



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和5年11月28日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 8番 大山町議会議員 大原 広巳

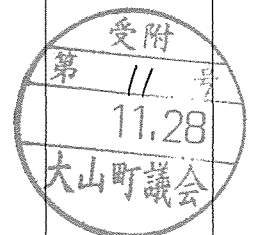


一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1 中山間地域等直接支払制度の課題について</p> <p>第5期も3年目を終え、残り2年間となった。集落戦略の作成、話し合い、実践が必要となって、各集落で取り組まれていると思うが、今後の課題について問う。</p> <p>人・農地プランで、次の後継者が存在する集落は、当面の計画が立てられているが、そうでない集落は今後どうなっていくのか不安である。特に稲作が中心の旧大山地区は、農家の高齢化で離農する農家も多い。近隣の大型生産法人も近年の米価低迷、資材高、人手不足などで、規模拡大も限界にきていると思われる。</p> <p>今回は、担い手がない集落の課題を問いたい。</p> <p>①集落の共同草刈り事業に参加する若手農家達に少しでも自分の田畑を管理してもらうために、3年前に行った草刈り機の助成制度をもう一度やれないか。自走式だけでなく背追い式の草刈り機も対象を拡大してやれないか。</p> <p>②構造改善事業も始まってから40年以上経過して、水路があちこちで補修を必要としている。今のペースの修理では間に合わない。多面的機能交付金で行う修理事業では限界がある。がんばる地域プランの地元負担の2割をもう少し下げられないか。</p> <p>③米価下落対策や肥料高騰対策は来年度も継続する予定はあるのか。</p> <p>④各集落の戦略作成の現状を話し合う会合の、今後の予定は。</p>	<p>町長</p>



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和5年11月28日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 1番 大山町議会議員 小谷 英介 印



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>テーマ: <u>持続可能な官民連携のあり方とは</u></p> <p>焦点: <u>大山エリアに新設予定の「大山町アウトドアライフ事業促進施設」について</u></p> <p><背景></p> <p>本町では、新たに、「大山町アウトドアライフ事業促進施設」を大山寺エリアに建設する計画が進んでいます。この施設について、今のところわかっている範囲では、博労座駐車場近くの「旧かなお商店」物件を町が980万円で買い取り、建物を解体し、さらに、2億7千万円をかけて新築2階建て延床面積400㎡程度の店舗用物件を建設します。施設の設計などは未定ですが、月額賃料は35万円で、アウトドア用品販売や飲食などテナントを想定して、公募をする予定です。この施設は大山観光を活性化させるためのものですが、町のお金の使い方やその効果について、他の事例と比較しながら、検証したいと思います。</p> <p><質問事項></p> <p>1, 過去の事例整理</p> <p>以下、本町の近年の店舗進出支援の内容について調査し、整理してください。</p> <p>(必須項目:町の支援内容と金額、企業側の負担内容と金額)</p> <p>① モンベル大山店</p> <p>② カーブス 大山町健康センター</p> <p>③ 北欧テントメーカー ヘルスポート社商品取り扱い店舗(出店準備中)</p> <p>2, 今回の事例について</p> <p>① 本事業で見込む経済効果は。</p> <p>② 本件のように、町が新築で建てた物件を、進出企業側が建物のリスクを負わず、50年でようやく回収できる程度の賃借料のみで進出する場合の、町の将来的なリスクについてどのように認識しているか。</p> <p>③ ヘルスポート社商品取り扱い店舗の事例と同じように、空き物件の改修を補助するやり方ではなぜだめなのか。</p> <p>④ あるいは、町が更地の状態にして、建物の設置を希望する事業者を公募するやり方ではなぜだめなのか。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	<p>町長</p>



令和5年11月28日

大山町議会議長 米本隆記 様

議席番号 10 番 大山町議会議員 大森正治



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 水道料金値上げは住民合意を得て</p> <p>水道料金統一後、初めての水道料金値上げが提案された。</p> <p>今年4月に町長から水道料金のあり方について、上下水道料金等審議会に諮問が行われ、6回の審議会を経て、10月20日に答申が出された。</p> <p>その概要は、水道料金収入の減少と老朽化施設の更新による経費の増加のために、料金改定率13%引き上げる、基本水量は8㎡としそれ以上使用した従量料金は逓増制を廃止し一律とする、来年4月から料金を引き上げるというものである。</p> <p>水道料金の値上げには、それなりの理由があり理解できるが、次の点において異議がある。1) 諮問から答申、そしてこの12月定例会で改定条例案が提案され、来年4月からは値上げが実施されるという「スピード感」、そして、その間、町民には丁寧な説明が行われ合意を得るという過程が見られないこと。2) 一般家庭の収入は増えないのに、昨今の大幅な物価高騰、保険料や医療費などの負担増で家計が圧迫されている中での引き上げであること。</p> <p>以上の点を踏まえ、以下の点について伺う。</p> <p>①水道料金の値上げ幅を平均13%とした根拠は何か。</p> <p>②今なぜ水道料金を拙速に値上げする必要があるのか。</p> <p>③値上げを回避するために、自由度の高い基金の投入や一般会計からの繰り入れはできないのか。</p> <p>④全町民の暮らしにかかわる水道料金値上げは住民の合意が必要不可欠と考える。そのための、住民説明会やパブリックコメントを実施しないのか。</p> <p>⑤物価高騰で家計負担が増大している中、また、住民の合意が得られていない中、来年4月からの値上げ決定は拙速すぎる。せめて1年間は据え置きしないか。</p>	町長



(注) 的確な答弁がえられるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。
質問の相手は、町長、教育長、農業委員長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>2. 保育士（会計年度任用職員）の待遇改善を</p> <p>保育士や介護職員などケア労働者は重要な任務を担っているにもかかわらず、業務内容は厳しく給与は低く抑えられている。とりわけ保育士については、保育士配置基準が外国と比較しても極めて低く、賃金は全職種の平均より5万円も低い実態がある。そのため、慢性的な人手不足に陥っている。これは国政の問題でもあり、政府はその解消に向けて本気で取り組まなければならない。</p> <p>一方、大山町の保育士の実態に目を向けると、どうか。保育業務の多忙化に加えて、同じ価値の労働をしても非正規の会計年度任用職員と正規職員との賃金には、月額7万4000円もの格差がある。業務の多忙化解消と賃金格差解消のために、国の改善を待つことなく、町行政の責任で早急に改善に向けた取り組みを行うべきある。それが、保育士のみなさんの労働意欲を高め、子どもたちにいい保育を保障する第一歩であると考えます。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>①現在、本町の保育士配置基準はどうか。</p> <p>②保育士の多忙化解消のために、どう取り組むか。</p> <p>③本町の保育士のうち、会計年度職員が約54%と高い比率である。この実態をどう考えるか。</p> <p>④希望する会計年度職員を正規職員にすることはできないか。</p> <p>保育士（正規職員）の定数は何人か</p> <p>何年くらい待ったら正規職員に採用されるのか</p> <p>⑤保育士の賃金について。</p> <p>正規職員と会計年度職員の1か月の平均した給料の格差は73,907円。</p> <p>会計年度職員の保育士のうち35%の保育士は、正規職員と同じ担任業務をしている。にもかかわらず、賃金格差はあまりにも大きい。この現実をどう考え、格差解消に向けてどう取り組むか。</p>	<p>町長 教育長</p>

(注) 的確な答弁がえられるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。
質問の相手は、町長、教育長、農業委員長、選挙管理委員長、監査委員等とする。